

ミランダルマスターリ学校

特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
理事長 マナンダール マダーブ ナラエン

ミランダルマスターリ学校は昨年4月の地震で大きな影響を受けた。被災し1ヶ月半の休校をせざるを得なかった。その後の授業再開は校庭でのテント、仮設校舎、そして今は修復された元の校舎へと戻った。現在学校には保育園から10年生まで341名の子供たちが在籍している。本地震や余震の恐怖が去り、平常の生活に戻りつつあった頃、仮設校舎での学校生活は厳しいものだった。日本の仮設と違い、土がむき出しの床(土間)、トタン一枚の屋根、開け閉めできる窓がないため、トタンでできた壁と屋根の間に明かりとりの隙間を設け、教室への出入口には扉がついていない。これでも屋根があるのは有り難いこと、勉強を続けることができた。しかし夏には直射日光で熱せられたトタンの中、雨季の3ヶ月は水浸しになったり、ぬかるんだりの土間で、寒さが増してからは凍えながらのものとなった。本当は元の校舎は安全上、建て直すのが最善である。資金繰りが付くまで使用可能箇所だけの利用で済ませることができていれば、義援金の節約もできた。しかし現状は大変厳しく、風邪引きで休む生徒が続出、学校側は困り果てた結果、ミランクラブにも相談し元校舎を修復した。12月半ばから応急処置が施された元校舎に全員が戻った。

そんな状況の学校ではあるが、昨年か

ら度々の日本からの会員によるネパール訪問で励まされたり、また最近では楽しみなことも幾つかあった。

その一つ、2月3日、ミランダルマスターリ学校にJ.LEAGUEを支援している団体JICS(日本国際協力システム)からのサッカーコーチの方々が訪れ、生徒たちとサッカー交流を行った。

“SPORTS FOR TOMORROW”のスローガンのもと行われたこのイベントのきっかけは昨年11月のネパール地震支援報告会に参加されたJICS関係者からだった。生徒たちや先生方も楽しい時間を過ごすことができた。



サッカーイベントで記念撮影



ドリブル練習

二つ目は2月23日に日本から美術教師として会員の武藤さんがネパールを訪れる。ダルマスタリで半年の予定で教えることになっている。滞在は寄宿舎で、子供たちと一緒に生活をする。ミランダルマスタリ学校は海外からの教師を受け入れている。直接学校を訪れたり、視察したりして一日教師として教える方、ミランクラブを通し派遣のような形で長期間教えられる方、希望される方に合わせ臨機応変に対応している。今まで日本やフランス、イギリス等からも訪れている。ゆとり教育の少ないネパールでの美術の授業は子供たちも楽しみにしていると思う。新しい教師を迎え、子供たちにも先生方にも今までとはちょっと違う爽やかな一時が訪れるよう願っている。

彼女のホームページ（アドレスは下記参照）ではオリジナリティー溢れる作品を観ることができる。

<http://happearth32.wix.com/keiko>

ここで現在のミランダルマスタリ学園センターについて簡単に紹介したい。341名の生徒と18名の教職員から成る共学の学校で、生徒はダルマスタリ村を中心に、その周辺の4つの村から通って来ている。学校の評判は高く、SLCでの成績も上位にある。村の学校ではモデルケースにもなっている。学校校舎は2003年に岐阜淡墨ロータリークラブの支援で建てられた。60名の生徒から始まった学校は当初から評判も良く、ミランクラブの主旨でもある一人でも多くの子供が学校へ行けるよう奨学金制度も設けている。341名中77

名が学校からの奨学金を受けている。規定に該当する在校生が対象で男女差なく受けられる。約22%の子供たちが奨学金を受けている学校はネパールではそう多くない。学校はミランクラブの主旨を理解し、子供たちが教育から脱落しないよう、苦しい収支から工夫を重ねている。しかし、村にはまだ学校へ行かせられない家庭も多くある。学校運営には様々なノウハウが必要で、そのためにも日本の方々からの協力が欲しいと思う。私自身も今年から学校運営に関わり始め、日本の教育の良いところを取り入れていきたいと考えている。

ネパールの教育制度はネパール歴の新年から新学期が始まる。今年は西暦4月13日が新年に当たる。生徒は年々増えている。そのためにも学校設備は整えなければならない。

現在寄宿舎には14名の寮生がいて運営は少人数で行っている。授業に遅刻することはないし、勉強にも集中できる良い環境だ。昨年11月にイギリスのボランティアグループが布団一式を寄付してくれた。寄宿舎は日本や外国から学校訪問等で訪れる人たちも利用できるようになっている。子供たちとの交流も楽しみの一つだったりする。

国力の弱いネパールでは、広い範囲に及んだ地震の被害からの復興は海外からの支援に頼っている部分が多い。その点でダルマスタリ学校は恵まれている。感謝してもしきれないほど有り難いことだと思う。